

令和4年度 板橋区立志村第二中学校 授業改善推進プラン

教科名

技術・家庭

	学力調査・体力調査・定期考査等の分析	指導方法の課題	授業革新に向けての具体的な手立て
7 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業への取り組みは良く発言なども多いが、定期テストの結果等を見ると、試験前の学習や復習に取り組んでいた生徒とそうでない生徒には知識の定着の差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学んだ知識が実習や実生活では活かされていないことが多いので、知識と実践を結びつける工夫が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習の前に学んだ知識を思い出せるような質問や先週の授業の振り返りを行い、思い出させる。</li> </ul>
8 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業には積極的に取り組んでいるが、知識の定着が弱く、定期考査の結果に結びついていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学んだ知識や技能を定着させる工夫が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の最初に知識を思い出せるような質問をしたり、視聴覚機器を利用して、視覚的に思い出させる。</li> </ul>
9 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度と比較すると知識は定着してきているが、興味・関心の薄い生徒は積極性に欠ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味・関心を持たせる授業展開の工夫が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT機器や視聴覚機器を積極的に活用し、興味・関心を引き出す。</li> </ul>